

生涯学習概論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 学校教育と社会教育にはどのような相違点と共通点があるか。それぞれの目的、内容、方法、対象に着目して、800字以内で述べなさい。(30点)

2. 近年、グローバル化の進展に伴い、在留外国人を対象とする教育のあり方について検討が進められている。学校教育の場における児童・生徒への対応とは別に、生涯学習の観点から、地域社会の中にどのような学習環境が求められるか、400字以内で述べなさい。(15点)

3. 次の①～③の中から2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。その際、各事項のキーワード2つを必ず用いて説明しなさい。なお、解答の際、キーワードはカタカナ表記のみで構わない。(各10点)
 - ① 銀行型教育
キーワード： P. フレイレ、対話

 - ② オープンバッジ
キーワード： デジタル証明、スキル

 - ③ Support, but no control
キーワード： 社会教育関係団体、統制的支配

4. 次の文章の①～⑦に該当する適切な語句を、下記の□の中から選択し、解答用紙にはその記号を答えなさい。(同じ番号には同じ語句が入る。)(各5点)

生涯学習社会という社会像は、昭和59(1984)年から昭和62(1987)年にかけて内閣総理大臣直属の諮問機関として設置された(①)が出した答申の中に登場している。この答申では、(②)社会が教育にもたらしている弊害を是正すべく、新たに建設が求められる社会像として生涯学習社会が示されている。そこでは、(②)偏重の人間評価をあらため、生涯学習の成果の適切な評価に基づく、多面的な人間評価が可能な社会の実現が目標として掲げられた。

生涯学習社会に類する社会像として、たびたび比較の対象とされるものに学習社会(learning society)がある。これはシカゴ大学の学長・総長等をつとめた(③)が、1968年の著書*The Learning Society*で示したもので、「学習、達成、人間的になることを目的とし、あらゆる制度がその目的の実現を志向するように価値の転換に成功した社会」とされた。これに比べ、日本での生涯学習社会をめぐる議論は、(②)社会との対比を前提としている点や、学習成果の評価のあり方が具体的な論点として強調されてきた点が特徴といえる。

学習成果の評価に関しては、平成2(1990)年の中央教育審議会答申「生涯学習の基盤整備について」において、都道府県が(④)を設置することの必要性が指摘され、その主要な事業のひとつとして「生涯学習の成果に対する評価に関すること」が挙げられた。

生涯学習社会をめぐる議論の展開の過程では、学習成果の評価のみに留まらず、その活用にも関心が向けられるようになる。平成11(1999)年の生涯学習審議会答申「学習の成果を幅広く生かすー生涯学習の成果を生かすための方策についてー」では、個人が学習成果を活用して社会で自己実現を図る場として、キャリア開発・(⑤)・地域社会での活動の3つが取り上げられ、その振興方策が検討されている。学習成果の活用と(⑤)との関連については、これに先行して平成4(1992)年の生涯学習審議会答申「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」の中で、「学習の成果を生かし、深める実践」として(⑤)があるという視点が提示されている。

平成18(2006)年の(⑥)の全部改正では、新たに第3条「生涯学習の理念」が作られ、それまでの生涯学習社会をめぐる議論を受ける形で、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会」が実現すべき社会像として述べられた。

その後、生涯学習社会に関連しては、平成 20（2008）年に、中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～（ ⑦ ）の構築を目指して～」が出され、「各個人が、自らのニーズに基づき学習した成果を社会に還元し、社会全体の持続的な教育力の向上に貢献する」社会とされる（ ⑦ ）という社会像が示されている。

| | | | |
|---|--------------------------------|--------------|-----------|
| ① | ア 教育再生実行会議 | イ 教育改革国民会議 | ウ 臨時教育審議会 |
| ② | ア 学歴 | イ 階級 | ウ 格差 |
| ③ | ア P. ラングラン | イ R. ハッチンス | ウ E. ジェルピ |
| ④ | ア 公民館 | イ 生涯学習推進センター | ウ 学位授与機構 |
| ⑤ | ア ボランティア活動 | イ 探究活動 | ウ SDGs 活動 |
| ⑥ | ア 社会教育法 | | |
| | イ 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律 | | |
| | ウ 教育基本法 | | |
| ⑦ | ア Society 5.0 | イ 知の循環型社会 | ウ 市民協働社会 |